



発行・編集／大井地域自治区運営協議会 恵那市長島町正家 1-1-1

NO.89

電話：0573-25-8220 FAX：0573-26-0596 mail：ooijichi@gmail.com

当時の作業員姿に扮した市職員から説明を受ける



大井ダムと恵那峡を学ぼう！

七月三十日（火）恵那峡
デジタルセンターで完成か
ら一〇〇年を迎える日本初
の本格的な発電用ダム「大
井ダム」と「恵那峡」の歴史
を小・中学生とその保護者
が学びました。はじめに「読
み聞かせ隊」による紙芝居
で歴史を紹介し、続いて恵
那市文化課職員が当時の作
業員の格好で登場し、ダム
工事の様子などをスライド
で紹介しました。



市民三学大井委員会「読み聞かせ隊」による紙芝居上演

大井ダム完成100周年記念イベント

全国高校総合文化祭ぎふ

2024

「文化部のインターハイ」とも言われる「第四十八回全国高校総合文化祭」が七月三十一日から八月五日までの六日間、県内の十五市町村を舞台に開催され、期間中全国から約二万人の高校生が県内各所に集結しました。

二十二部門のうち、新聞部門の生徒約四百人が恵那市・中津川市で取材活動をしました。北は北海道、南は鹿児島まで、全国の高校生が集まり、遠くの生徒は前日から恵那市に入り、カメラ片手に下見や取材をする姿をあちこちで見かけました。その様子は連日新聞などでも紹介されました。

高校生たちのあついい夏！

そして、明治天皇大井行在所には、八月二日（金）に約五十人が来場し、取材をしました。

高校生が四班に分かれ、中山道あたりへの会のメンバーからテーマである「駅の今昔」について話を聞き、熱心に記録をとる姿が伺えました。



「**恵那市地域のまちづくり活動補助金**」を利用した事業を募集します

【対象期間】 令和**7年4月1日**～令和**8年3月31日**

【補助金の額】 上限50万円

【対象事業】 大井町の地域計画 以下の**①～④**のいずれかに該当すること

- ① 安心安全で快適に暮らせるまち
- ② 歴史文化と自然が調和した元気なまち
- ③ 健康で心豊かに暮らすまち
- ④ 町民みんなで子育てできるまち



【締め切り】 令和**6年10月4日**（金）

【申し込み】 事業計画案や予算案などを所定の書式に記載し、市役所大井振興室へ提出してください。
継続して補助金を受けている団体も提出してください。

※提出書類は恵那市役所大井振興室にあります。

【記載事項】 事業名、事業実施団体名、事業の目的及び内容、活動スケジュール、事業により見込める効果収支予算などです。

【その他】 提出された事業は、大井地域自治区運営協議会での審議を経て市へ提出され、市の審査により交付の要否が決定されます。

【問い合わせ】 大井振興室 電話：**25-8220**

8/14
(水)

納涼夏祭り
恵那まちなか市

7/27
(土)

恵那峡花火大会



暑い夏の夜がさらに暑く！

大井ダム 100周年記念の
ナイアガラ



フルーツで生活に彩りを

りんごハウス

こだわりのフルーツ・季節のフルーツ・野菜を、
新鮮・ボリューム、納得の値段で販売！

(有) グリーンス木曾 TEL：0573-59-4350
恵那市大井町観音寺 2695-855

9月は敬老月間
介護用品全般
年中2割引
在宅介護の皆さんを応援しています

フデシマヤ
FUDISHIMAYA

TEL 0573-25-3158 恵那市大井町銀座

かわらばん応援店
随時募集中

大井町地域防犯パトロール隊

7/19
(金)

夏休み前一齐パトロールを実施



長島町と合同で、夏休み中の地域の安心安全のため毎年行われています。



中山道のれんコンテスト作品制作



七月二日(火)長島小学校三年生の授業でのれんを制作しました。



七月二十二日(月)恵那東中学校美術部の生徒がのれんを制作しました。



八月六日(火)明智こみセン「夏休み子ども教室」親子でのれん作りを実施。

行在所情報

7/27
(土)

恵那の焼き物講座を実施



行在所で現在展示中の「恵那の焼き物」を楽しむため西部良治さんを講師に招いて講座を開催しました。

展示は9月30日(月)まで開催中



8/4
(土)

親子リトミック教室を実施



八月三日(土)大井行在所で、親子リトミック教室を開催し、二十三人の親子がリズム遊びを楽しみました。

8/4
(土)

岡瀬沢浅間七福万歳奉納舞



岡瀬沢地区に伝わる伝統芸能「岡瀬沢浅間七福万歳」が富士浅間神社で奉納されました。

地域の子もたちも見守る中、「どっこいの」声が響きました。



祭の最後には、今ではあまり行われなくなった餅投げがあり、子どもたちも夏休みの良い思い出となったことでしょう。

大井町ふれあい交流会

7月20日(土)大井小学校・大井第二小学校の放課後
こども教室のこどもたちが、レクリエーションを楽しみ
ました。



地域の方や中京高校の生徒も参加し、ふれあい交流会にふさわしい活動となりました。

◆大井町の地名の由来

Vol.44

広久手 — ひろくて

旧中山道、中津川市境に接している一区画です。中津川市茄子川の広久手とも地続きで、以前は同一区画であったそうです。

久手(くて)は、低い湿地帯のことで、グテシともいいます。

この地方には、「クテ」や「グテ」のついた地名のところが多く、旧中山道の宿場の細久手や大湫(旧は大久手)、蛭川では田原地区に大グテ、奥渡地区に小グテ、中津川市福岡に大湫という所があります。

愛知県にも長久手の地で豊臣秀吉と徳川家康が争った長久手の戦いは有名です。

このように久手とつく地名は多く、低い湿地帯で条件の悪い所も、人々は工夫して使いやすい土地へと変化させていったことが分かります

岡瀬沢を越して、広久手へ

行くとき田が開けて耕作地が広がっています。ここは昔、「広久手の戦い」があり、大井の鷹撃谷城主藤井氏と苗木城主の遠山氏が戦い、激戦の末藤井氏が敗れた地でもあります。平地であったことから戦場となったのでしよう。

また、広久手に続く道は曲がりくねっており、見通しも悪かったので、物盗りなどの賊が出たそうです。大井の大捕物という昔話にも伝わっています。今では住宅が建ち、街道筋も整備されかつての話は、遠い昔のこととなりました。



(中山道かたりべの会)

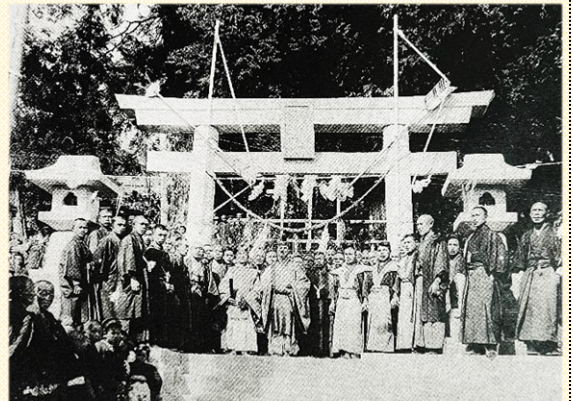
西尾 重人

かわらばんこぼれ話

暑い夏が過ぎ秋に入ると、建前に適した季節と言われます。

「今度あそこの家が建前らしい」と噂を聞いて餅ひろいを楽しみにしていたものですが、最近では餅投げをする家もなくなり、なつかしい思い出となりつつあります。大井町神徳地内の建物に珍しい物を見かけました。大きな二本の矢です。大正13年に阿木の神明神社鳥居建立の際に使用したものだそうです。100年前の写真が残っており、矢も映っています。建前の儀式に用いる「矢羽根(やばね)」ですが、建立にも用いたことが伺えます。

一般的には破魔矢といわれますが矢の先が鋭く尖っていないのは、邪気など妖気を破り浄化するためだそうです。鎗矢(かぶらや)と蛙股矢(かえるまたや)の二本の矢を鬼門(北東)と裏鬼門(南西)の方角に向けて飾りますが、ここでは天と地を向いています。それぞれ邪気の浄化をするためだと思います。中国の故事には破魔矢は火事を防ぐと伝わっています。-M・H-



【二本の矢】 大正13年大鳥居建立記念『阿木写真集』より出典

地区	8月1日現在	前月比	前年同月比
大井町人口	12,565人	-9	-68
世帯数	5,595世帯	-1	34
高齢化率	30.06%	-0.02%	-0.05%
市人口	46,311人	-83	-743
世帯数	19,990世帯	-12	85
高齢化率	36.23%	0.01%	0.26%

※高齢化率は人口に占める65歳以上の比率